

Zoomを使って伝えよう

6月28日(月)南風原小学校5年生と千葉大学教育学部附属小学校 帰国児童学級の児童でZoomを使った交流学習が行われました。児童らは、互いの住んでいる地域の特徴を発表し、違いについて理解を深めていました。南風原小学校の児童らは、電照菊・沖縄の桜と方言・沖縄のミツバチ産業について紹介。祖母が電照菊農家という知念莉里さんは、祖母へ電照菊の生産方法、必要経費、儲けについて取材し発表していました。知念さんは「お互いに色んな事を教え合えて、とっても楽しかったです」とコメントをしてくれました。



電照菊について紹介する様子

期待のボクサー

6月11日(金)南風原中学校2年の山元利月さんが町長と教育長を訪問し、第8回アンダージュニアボクシング王座決定戦 九州選考大会の出場報告をしてくれました。南風原町育英会を代表し、町長・教育長から山元さんへ県外派遣助成金と激励の言葉が贈られました。山元さんは「初心を忘れず、大好きなボクシングを一生懸命頑張りたいです」とコメントをしてくれました。



左から 赤嶺町長、山元さん、新垣教育長

地域貢献活動に関する協定の締結

6月10日(木)南風原町社会福祉協議会と南風原町商工会青年部による地域貢献活動に関する協定の締結式が行われました。商工会青年部長 上江洲俊介さんは「若い力を発揮し、子どもたちが笑顔になれる町づくりのお手伝いをしていきたいです」社会福祉協議会会長 前川義美さんは「笑顔あふれる住みよい南風原町を目指し、連携していきましょう」とコメントをしてくれました。



下段左から 商工会青年部 副部長 宮城さん、部長 上江洲さん、社会福祉協議会 会長 前川さん

人権擁護委員のご紹介

7月1日より南風原町の人権擁護委員として、山中久司さんが法務局より委嘱を受けました。人権擁護委員は法務局での電話相談対応をはじめ、半年に1度町内でも特設相談会を開設し、差別や虐待等の様々な人権問題について相談を受け付けています。相談は無料です。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。

【問】みんなの人権110番 ☎0570-003-110



山中 久司 委員



田本 政子 委員



赤嶺 広美 委員



宮里 秀勝 委員



伊良皆 マサ子 委員

ご寄付ありがとうございました。

● 南風原町社会福祉協議会への一般寄付

南風原町商工会青年部

部長 上江洲俊介様より …… 10 万円

株式会社 大橋自動車販売

代表取締役 田場士朗様より …… 25 万円

大城博志様(字兼城)より …… 5 万円

故父 大城照一様の香典返しとして

野原廣巳様(字喜屋武)より …… 5 万円

故母 野原喜代子様の香典返しとして

当真博史様(字宮平)より …… 5 万円

● 南風原町育英会への一般寄付

株式会社 大橋自動車販売

代表取締役 田場士朗様より …… 25 万円

南風原町建設コンサルタント会(11社)

会長 大城勝弘様より …… 10 万円

● 南風原町への一般寄付

國和設備工業 株式会社

代表取締役社長 仲原泉様より… 20 万円

株式会社 大橋自動車販売

代表取締役 田場士朗様より …… 50 万円

前田建設 株式会社

代表取締役社長 仲地政和様より… 30 万円

有限会社 名嘉山重建

代表取締役 名嘉山勝様より …… 50 万円

健康長寿 地域の取り組み

コロナ禍で孤立する高齢者が増える中、地域で高齢者の体力向上や見守り活動が行われています。第二団地では「体操カード」を使い、各自でウォーキングや掃除、デイサービスでの体操など運動を行ったポイントをつける取り組みをすすめています。20ポイントため、集会所へ行くと景品が貰えるお楽しみ付きの企画により、住民同士の声かけが生まれ、地域が明るくなったそうです。「なにも無かったら、ただ座ってテレビ観てるだけだったけど、カードがあるから座りながらでも体を動かして頑張ってるよ～」と参加者は楽しみながら体操を続けていることを教えてくださいました。

また、喜屋武地区では緊急事態宣言下でミニデイや高齢者サロンが休止の間、手作り料理を配布しながら見守り訪問を行っています。「あちこーのカレー最高だね～。来てくれて嬉しい。ありがとう」との会話もうまれ、繋がりをを感じることでできる訪問となっています。

社会福祉協議会の外間さんと具志堅さんは「各自治会が工夫をこらし、高齢者がずっと元気で過ごせるような取り組みを自主的に行っています。地域の繋がりは、お互いの生きがいにもなるので、この輪がもっと広がれば嬉しいです」とコメントをしてくれました。



喜屋武地区カレーづくりの様子



喜屋武地区見守り訪問の様子



第二団地体操カードを説明する様子



第二団地ポイントと景品を交換する様子

生理用品寄贈

7月14日(水)まごころボランティア会 宅建業協会 女性会員 有志の会より生理用品10万円分の寄贈がありました。女性部 副会長 島田様は「困っている子どもたちへ夏休み前までに必ず配りたいという思いで計画をし、沢山の方からの協力により短期間で進めることができました。今回は6ヶ所(南風原町・浦添市・うるま市・宜野湾市・沖縄市・那覇市)への寄贈をさせていただきますが、今後も沢山の方の協力のもと集まった思いを、困っている子どもや世帯へ届けていきたいです」とコメントをしてくれました。赤嶺町長は「町としても、なんとかしなければと考えていた生理の貧困について理解・協力をいただけたこと、とても心強いです。皆さまの善意を必要としている家庭に届け、今後も貧困対策支援に取り組んで参ります。誠にありがとうございました」と感謝を伝えていました。



左5 番目から 島田みつ子様、宮里亜弓様、金城由美様、石原朝子様

第71回 社会を明るくする運動

7月15日(木)南部保護区保護司会員の皆さまによる「社会を明るくする運動 メッセージ伝達式」が行われました。この運動は、犯罪や非行の防止・犯罪や非行をした人たちの更正について全ての国民が理解を深め、それぞれの立場において協力し、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な取り組みです。南部保護区保護司会 会長 長元 朝顯さんは「コロナの影響もあり、望まない孤独や孤立が増えています。これらの困難を克服するには、他者への思いやりを基本とする協力やコミュニティーがとても大切です。特別な資格はいりません。思いがあれば誰でも保護司の活動はできるので、一緒に活動できる仲間が今後増え、より安心な町づくりに繋がれば嬉しいです」とコメントをしてくれました。



左から 大城勇太さん、仲本明光さん、渡名喜庸順さん、赤嶺町長、長元朝顯さん、知念富信さん、浦崎ゆきさん